

四季の移ろいを感じ楽しむ

七十二候

1年を24等分した二十四節気(立春、春分など)を、それぞれ3つの「候」に区切った節目を七十二候といいますが、移ろう季節を愛でる日本人の豊かな感性を象徴しています。

冬至 末候

雪下出麦

ゆきわたりてむぎのびる

1月1日～1月5日頃

雪の下では密かに春支度

沈黙の季節が動き出す

1年で最も昼が短く夜が長い日「冬至」。この時期は大晦日から正月まで日本人にとって大切な行事が続き、まだまだ厳しい寒さが続きます。

しかしこの頃を境に、少しずつ昼は長く夜は短くなっていき、天地のエネルギーは回復の兆しをみせます。大地を覆う真っ白な雪の下では、その重みに耐えながら暖かい季節を夢見る麦が、春支度。麦は別名「年越草(としこえぐさ)」とも呼ばれ、秋に発芽し、雪の下で冬を越し、春には穂を出します。痩せた木々の枝にも、よく見ると命の気配が。1年の始まりと共に、生命も動き出す準備に入ります。



きざし 初日の出



料理 雑煮



行事 正月



野菜 百合根

開運ポイント

初日の出を拝んで目標を唱え、気持ちを締めたら、新年の始まり。氏神様にお参りして日ごろの感謝を伝え、今年1年の健康祈願を。この時期に新しいものを使い始めて運を開きましょう。

神宮館 REPORT

「長福寿寺代理参拝」

2022年6月23日(木)

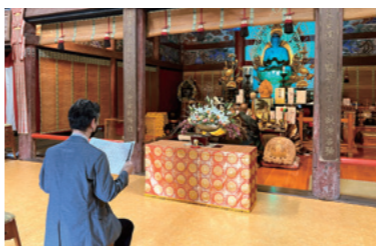
開催

吉ゾウくんのお寺で金運増大を祈願

今年36年に一度の「五黄の寅年」にあたり、金運を招く力が強まるといわれます。そこで、金運招福で有名な長福寿寺にて、代理で金運増大の祈願を執り行ってきました。

長福寿寺は798年に桓武天皇の勅願により、最澄によって創建された由緒ある大古刹です。

また幸福を呼ぶ吉ゾウくんのお寺としても有名です。約440年前に豪仙學頭僧止が護摩修行をしていると炎の中に1頭の象



▲般若心経を唱えて御祈祷中



▲高さ3.8mある吉ゾウくん

が舞い降り、「私は人々を幸せにするためにやってきた。私の足をさすれば必ず幸せになれる。そのことを多くの人に伝えよ」といわれたそうです。そのことから大きな御影石の象として祀られています。吉ゾウくんに見守られながら本堂にて、ご住職による金運増大の祈願が行われました。

皆様の金運が増大することを切に願います。

《次回告知》

今年9月の鳥越神社&匂い袋作成体験ツアーについてご報告します。

南天文様

「難転(なんてん)＝難を転じる」という語呂合わせから縁起物として親しまれてきた南天。愛らしい赤い実がこの時期の正月飾りや雪景色に映え、色の少ない季節を華やかに演出します。喉に良いとのこと薬用としても重宝され、厄除けとして植えたり飾ったりされることも。「難を転じて福となす」南天文様を身にもとうと、そんな前向きな気持ちになれそうですね。

MOMOTOSE DAYORI

ももとせ便り

令和4年壬寅

冬号

JINGUKAN

No.57

特集 神話伝承シリーズ⑨

天の力が働く聖地 北野

ももとせ便り No.57 発行/神宮館 東京都台東区東上野1-1-4 TEL 03-3831-1638 https://jingukan.co.jp 発行人/木村通子



ももとせ クイズ

今回の取材で見つけた牛の像は何体?

今回のプレゼント

風清(ふうせい)水琴鈴 3名様

新発売の水琴鈴です。厄払い・幸運が呼び込めるように願いを込めました。

※前回の答え 「うさぎ」



応募方法

は郵がき 「お名前」「郵便番号」「住所」「電話番号」「生年月日」「クイズの答え」「ご意見・ご感想」を必ず明記ください。

〒110-0015 東京都台東区東上野1-1-4 株式会社神宮館 「ももとせクイズ」係

ネット | https://jingukan.co.jp/momotose-present/ 右のQRコードを読み込み、応募フォームにアクセスしてください。



応募締切 2022年12月末日

※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

天の力が働く聖地

北野

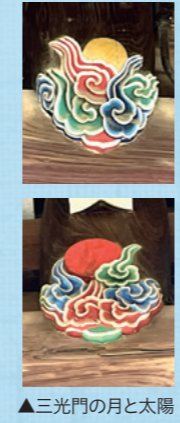


《京都市北野エリア》
洛中(京都市中心部のこと)で最も北西、京都御苑の西、二条城の北、嵯峨嵐山の東一帯のことで、現在は京都市上京区、北区に位置。洛西の嵯峨嵐山方面とセットで観光するのがおすすめだ。北野天満宮を中心としたこの地は、1587年に豊臣秀吉によって北野大茶会が開かれたことで知られている。

願いを込める「撫で牛」

学問の神様として名高い「天神さま」こと菅原道真公を祀り、春は梅の名所として知られる北野天満宮を訪れた。京都観光にはバスが便利で、京都駅から最寄りとなる北野天満宮前までは40分ほど。バスを降車するとすぐに石造りの大鳥居が見えてくる。

参道を進むと出会うのが牛の像。道真公と牛には縁があるらしく、天神さまの使いとして数多くの牛の像が境内に配置されている。私が見つけられたのは14体だが、それぞれに表情や素材が違う。願いを込めてこの像をなでるとご利益があるとのこと。「撫で牛」として信仰されており、どれも多くの人がなでられているのだが、人気のある像とそうでもない像があったのが面白い。どの像も座っているのだが、拝殿の欄間にある木彫りの牛のみ立っており、理由は不明で、北野天満宮の七不思議の一つとして数えられている。



▲三光門の月と太陽

星欠けの三光門

本殿前の中門は「三光門」と呼ばれる。三光とは日・月・星のことを指すが、門に施されている彫刻は日と月しかないことから「星欠けの三光門」として、これも七不思議の一つに数えられている。一説には、北野の上空には北極星が輝いていたため星を刻まなかったとも。

参拝を済ませ本殿から北西に進むと絵馬掛所があるのだが、あふれんばかりの絵馬が学問の神様の総本社である

ることを象徴している。一つ一つにかけられた願いの重さが東になって押し寄せてくるようだ。京都市には京都大学をはじめ38の大学・短期大学が所在

天神さんの日

毎月25日は道真公の誕生日(6月25日)と命日(2月25日)にちなんで縁日「天神さんの日」で、数多くの

していることも要因の一つだろう。その他にも大黒天の燈籠など見所が多い。



北野 おすすめスポット

京都最古の小さな花街には個性的で魅力的な個店が並ぶ。上七軒歌舞練場では芸舞妓が稽古に精進し、春と秋に舞踊公演がある。



粟餅所澤屋



江戸時代から北野天満宮の門前に店を構える老舗和菓子店。こし餡でくるんだものと、きな粉をまぶしたもの、二つの味が楽しめる粟餅は甘さ控えめの逸品。

大將軍八神社



臨済宗妙心寺派の寺院で通称「だるま寺」と呼ばれている。全国から奉納された約8000体のさまざまな達磨が並ぶ達磨堂は一見の価値あり。

陰陽道・道教において方位を司る星神、大將軍神を祀る神社として創建された。本殿前には八卦を表現したモニュメントが配置されている。



きたの てんまんだいじぎいてんじん 北野天満大自在天神とは

北野天満宮のご祭神は、人から神になった人物神の代表格、菅原道真公。幼少の頃より学業に励み、学者出身の政治家として卓越した手腕を發揮し右大臣も務めたが、当時の左大臣藤原時平に妬まれ左遷された大宰府で、非業の死を遂げる。その後都では疫病や自然災害が続いたため、道真公の祟りと恐れられ、神様として祀られることに。今では学問の神様「天神さま」として全国に伝播している。



今回の旅で購入したお土産



◎三平餅の京もなか
北野天満宮東門すぐにある餅菓子屋で購入できる上品な味の最中。



◎京五山のごま豆腐
お土産にもぴったりのごま豆腐。写真はごま、黒ごま、抹茶、しそ。



▲絵馬掛所

DATA

●北野天満宮
京都市上京区馬喰町

▼長五郎餅



▲長五郎餅本舗 北野天満宮境内茶店

露店が所狭しと立ち並び、梅の見頃と重なる2月25日は梅花祭で、例年国立大学の入試が実施される日でもあるため、受験する我が子の合格を願う家族で賑わう。25日や催事の際には、東門にある「長五郎餅本舗」が開店しており、北野大茶会の際に用いられたとされる、素朴な味わいの長五郎餅が味わえる。



▲梅花祭の境内の様子